

インターバンクの声（2014年9月19日）

昨晚の米新規失業保険申請件数は、事前予想を下回る強い数字となり、市場は即座にドル買い反応となったが、同時に発表された8月の住宅着工件数が予想を下回ってしまった。円相場では、新規失業保険申請件数の結果から109円台乗せを狙う動きも見られたが、住宅着工件数の落ち込みで敢え無く撤退となった。それにしても一昨日来の相場は、米連邦公開市場委員会（FOMC）、欧州中央銀行（ECB）による初実施のターゲット型長期資金供給オペ（TLTRO）、スコットランドの独立賛否を問う住民投票、そしていつもの経済指標発表とめまぐるしい日程が続き、激しい値動きが続いている。イエレン議長は、相変わらず早期の利上げに対する慎重姿勢を変えていないが、米金利はほとんど緩まず、NYダウも連日の史上最高値更新だ。ドル円の110円超えも数日以内に達成しそうな勢いだが、どこかに落とし穴が潜んでいるのではといった警戒感があまり感じられないのが少々怖い。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。